

安^{あんじゅ}寿

アプローチ用手すり 支柱埋め込み固定式 高さ調節無し 施工説明書

- このたびはアプローチ用手すり 支柱埋め込み固定式 高さ調節無しをお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
- 施工前にこの施工説明書をよくお読み頂き、安全に正しく施工されるようお願いいたします。
- 取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

- 警告** 誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。
- 注意** 誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示（図記号）で区分し、説明しています。（下記は絵表示の例です）

- ❗ 必ず実行していただく「強制」内容を説明しています。
- 🚫🚫 してはいけない「禁止」内容を説明しています。

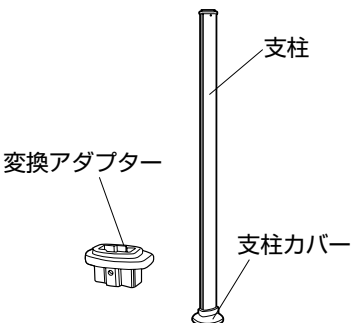
警告

🚫	改造や分解をしないこと けがや破損の原因になります。	🚫	転倒防止用ガードレールや防護柵、ベランダの柵、窓格子などや断崖地、転落の恐れのある場所などで使用しないこと 重大事故につながる恐れがあります。
🚫	一般住宅に取り付ける歩行補助手すり以外では使用しないこと 重大事故につながる恐れがあります。		
			取り付けは必ず指定寸法に従うこと 手すりが破損し、けがの原因になります。

注意

❗	取り付けは必ず取付工事店が行なうこと 取り付けが不安定となり、けがの原因になります。	❗	製品の取り付け後に、ぐらつきやガタつきが無く確実に固定されているか確認すること 手すりが外れたりして、けがの原因になります。
	必ず同梱の固定金具を使うこと 取り付けが不安定となり、けがの原因になります。		
	必ず強度を確保できる地面に取り付けること 手すりが外れたり、取り付け面が壊れたりして、けがの原因になります。		
	ガス・水道メーター及びガス管、水道管の位置を確認して施工すること 施工に支障のある場合は、手すりの位置をずらすか、ガス、水道メーター及びガス管・水道管の移設を行なってください。		
		🚫	アンカーボルトを取り付ける穴の周囲に必ずシーリング剤を塗布すること 手すりが外れたり、取り付け面が壊れたりして、けがの原因になります。
			製品に強い応力が加わった状態で無理に取り付けないこと 手すりが折れたり、外れたりしてけがの原因になります。
			埋め込み設置の場合は、養生期間を十分にとり、期間中は重い物をのせたり、手すりをゆすったりしないこと 手すりが外れたり、取り付け面が壊れたりして、けがの原因になります。

各部のなまえ

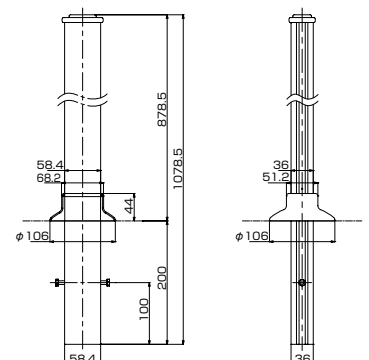


項目	部品名	材質
構成部品	支柱	アルミニウム
	支柱カバー	ポリプロピレン
	変換アダプター	アルミ合金
	ねじ類	ステンレス
重量	1.2kg	

◇付属品
・六角ボルト（抜け止め用） 2本

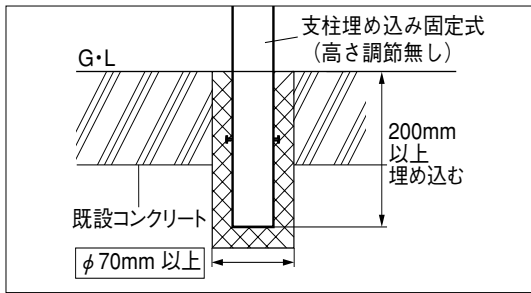
商品寸法図

単位：mm

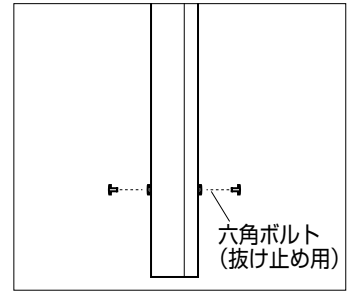
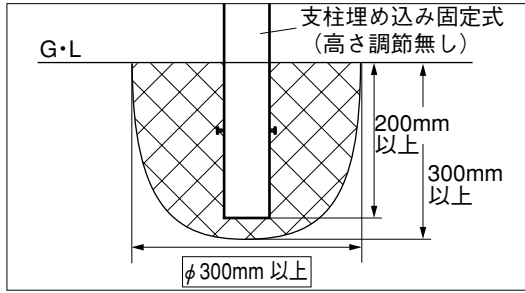


取り付けかた

表面がコンクリートの場合

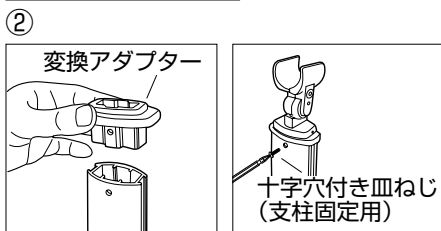
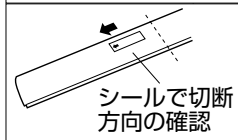
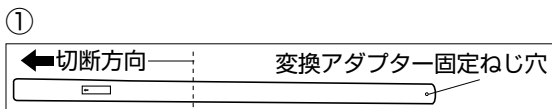
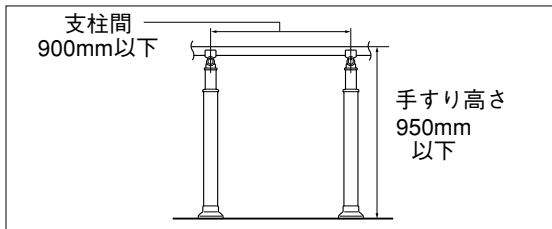


素地面の場合



- 支柱埋め込み固定式（高さ調節無し）を設置する場所を決め、支柱を差し込む為の穴位置に印を付けます。
 - 表面がコンクリートの場合はコアドリル（ドリル径φ70mm）で深さ200mm以上の穴をあけ、素地面の場合はφ300mm以上、深さ300mm以上の穴をあけます。
 - 支柱側面にあいているねじ穴に、付属の六角ボルト（抜け止め用）を固定します。
 - 穴の中に溜まっているコンクリートの粉をダストポンプ又は、ブラシで取り除き、支柱を差し込みコンクリートを流し込みます。このとき支柱が垂直に立っているか確認し、コンクリートが固まるまで添え木等で支えます。
- ※コンクリートの養生期間は使用するコンクリートの取扱説明書をよく読んでご使用ください。
 ※支柱埋め込み固定部が完全に埋まり、支柱端面が地面に接するまで埋め込んでください。

取り付け指定寸法



注意

穴は指定の深さ、大きさであけること
 支柱が倒れたりし、けがの原因になります。
 素地面は土の場合のみ施工可能です。砂地
 の場合は確実な固定ができないため施工し
 ないこと
 支柱が倒れたりし、けがの原因になります。
 支柱が垂直になっているか必ず確認すること
 支柱が倒れたりし、けがの原因になります。



警告

取り付けは必ず指定寸法に従うこと
 手すりが破損し、けがの原因になります。

手すり高さ調節方法

- 支柱を切断し手すりの高さを調節します。
 ※手すりの設置高さに埋め込みしろ200mmを加えた高さ
 で切断してください。
 ※製品に貼り付けてあるシールで、切断方向を確認してください。
 ※手すりの設置高さは、650mm～950mmの範囲で調整して
 ください。
- 変換アダプターを差し込んだ後、取り付ける部材を差し込み、
 付属の十字穴付き皿ねじ（部材固定用）で部材を固定します。
- 最後に長さを調節した支柱側面カバーを、支柱に取り付けます。